

初診時有転移前立腺癌患者の多施設後ろ向きアウトカム研究

1. 研究の対象

2000年から2016年の期間に秋田大学医学部附属病院泌尿器科で前立腺癌と診断された、もしくは診断後に秋田大学医学部附属病院泌尿器科で加療された、初診時に転移有する前立腺癌の方。

2. 研究目的・方法

前立腺癌は、本邦において男性に非常に多い癌となっています。前立腺癌は比較的進行が緩やかな癌ではありますが、転移のある患者さんに根治（完治）的な治療はなく、いずれ抵抗性となり進行し、生命に関わります。近年は新規内分泌療法や新規化学療法が登場し、また大規模試験で内分泌感受性の転移性前立腺癌に早期に化学療法を施行することで予後が延長することも報告されています。

上述のように、治療法の多様化により治療初期また早期に従来の治療では治療効果が十分でない患者さんを予測する重要性が増してきています。上記のような背景を踏まえ、本研究では、複数の施設と共同で初診時に転移のある前立腺癌患者さんの情報、治療経過、治療成績を調査し、本邦における治療の実態と成績を明らかにし、今後より最適な治療に結びつく基礎データを構築することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報には削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

前立腺生検日、生検病理、転移部位、転移回数、骨痛の有無、診断時検査値、初期治療開始日、初期治療の内容、治療開始後の検査値、原発治療（放射線治療、前立腺全摘）の方法と有無、新規内分泌治療薬や抗癌剤の使用の有無、転帰等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターである秋田大学へ電子的配信によりデータの提供を行います。利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。データは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究責任者

秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学講座
秋田大学附属病院 血液浄化療法部 准教授
成田 伸太郎

研究事務局
秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学講座 准教授
〒010-8543 秋田市本道 1 - 1 - 1
TEL 018-884-6156, FAX 018-836-2619
井上 高光

研究分担施設
東北大学泌尿器科
弘前大学泌尿器科
山形大学泌尿器科
宮城県立がんセンター
仙台市立病院
山形県立中央病院
岩手県立胆沢病院

(研究の進行状況に応じて今後参加施設を増やす可能性あり)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学附属病院血液浄化療法部 准教授 成田伸太郎
秋田市本道 1-1-1 秋田大学大学院医学研究科 腎泌尿器科学講座
(Tel) 018-884-6156 (FAX) 018-836-2619

研究責任者：

秋田大学附属病院血液浄化療法部 准教授 成田伸太郎
(Tel) 018-884-6156 (FAX) 018-836-2619